

Sire

サイア

発行所／一般社団法人 ジェネティクス北海道

発行人／近藤 好弘 令和5年1月16日号

Vol.459

1月

CONTENTS

- ② 新年のご挨拶
- ③ AI講習会開催要領
- ④ 現場レポート H黒-312「鉄晴幸」のふるさとを訪ねて
～登別市 井野牧場～
- ⑤ ET講習会合格者発表
- ⑥ 北神居と戦った鹿児島全共
- ⑩ 生産技術部便り
- ⑪ 新規現場後代検定実施種雄牛の紹介(肉) H黒-376 武白清・H黒-377 北神居
- ⑫ 北米資源調査レポート
- ⑭ 令和4年 本誌表紙を飾った作品／第5回GH絵画コンテスト
- ⑮ ☆食レボ☆ ステーキ29koma
- ⑯ お知らせ



「気にしつつ反芻する子牛」

画：富田 美穂 HP「MIHO TOMITA 牛の木版画と絵画」<https://tomitamiho.com/>



謹賀新年

新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃よりジェネティクス北海道の乳用牛、肉用牛の改良増殖事業につきまして、格別のご理解、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、全世界的にまん延している新型コロナウイルス感染症は、3年目を迎えても今なお変異を繰り返しながら猛威を振るい、この冬においてはインフルエンザの同時流行も懸念されておりますが、人の往来や外食産業など、生活環境における国民生活パターンも徐々に元に戻りつつあり、それぞれの業界が経済活動を潤沢に進めるように取り組んでいる状況にあります。

酪農畜産に目を移しますと、去年は感染予防対策を万全に講じながら、各地区、全道で3年ぶりの家畜共進会が開かれ、皆さまにとっても待ちに待った開催となりました。さらに10月には第12回全国和牛能力共進会が鹿児島県で開催され、北海道からは22頭が出場、各区で上位入賞を果たし、特に第4区、第5区では優等賞3席を獲得するなど、今回の令和9年開催「北海道全共」につながる素晴らしい成果を上げたところで。なお、当団出品牛「北神居」も第1区(若雄)で優等賞5席に食い込みました。

一方で、酪農畜産の経営を巡る情勢では、以前から中国の旺盛な輸入により飼料穀物相場は上昇しておりましたが、昨年2月に発生したロシアのウクライナ侵攻の長期化により、相場はさらに高騰し、急激な為替円安も加わる中、史上最高の配合飼料価格となりました。また、肥料、燃油をはじめとする各生産資材価格も高騰し、生産コストは大幅に増嵩しております。

さらに酪農においては、抑制型の計画生産に取り組む中でも、消費低迷などにより生乳需要は回復せず、期中での5万トンの目標下方修正と令和5年度の9万トンの減産計画の取組を余儀なくされ、さらには乳用雄初生を始めとする各個体販売価格の暴落と、これまでにない極めて厳しい経営環境となりました。

このように生産コストが高騰するなか、指定団体ホクレンは取引乳価について、昨年11月より飲用向を10円引き上げ、さらに年末には残る乳製品向についても、令和5年4月から10円引き上げることと決定いたしました。また、行政においても、国、道の配合飼料価格高騰に対する緊急対策を始め、令和5年度政策価格および価格関連対策の拡充等が措置されましたが、酪農畜産現場での大きな課題はまだ山積しております。

現在、生産現場では乳用牛に対する黒毛和種のF1交配の拡大および黒毛和種受精卵の利用拡大が顕著となっておりますが、当団は昨年もこれまで同様、当団の運営目的である「酪農畜産経営の安定に寄与する」ことを第一に考え、家畜改良に係る各事業を推進してまいりました。特に種雄牛の改良については、乳用種、黒毛和種ともにゲノミック技術を積極的に活用した予備選抜の推進により、高能力かつ機能的体型の優れた種雄牛の造成を進めております。昨年8月の乳用種雄牛評価成績(家畜改良センター)では、JP3H57843 コンシエルジュ、JP3H58010 ブーテイー、JP3H57288 JC スターがトップ3を独占しており、また黒毛和種では昨年後期に、市場からの評価が極めて高いH黒-313 北美津久と、同じファミリーであるH黒-312 鉄晴幸を選抜しております。

また、当団として重要な事業のひとつであります家畜人工授精師資格取得講習会、受精卵移植技術資格講習会は、これまで新型コロナウイルス感染拡大の影響で滞っていた分を取り返すべく、万全の感染予防対策を講じながら3回開催いたしました。

本年は、当団の第12次事業運営3箇年計画の最終年度でもあります。私どもが掲げた「人づくり、仲間づくりと牛づくり」のビジョンを基本に、生産者および関係機関の皆さまとの密接な関係を築き、未曾有の厳しい酪農畜産の経営環境のなかで、現場の抱える課題解決に改良増殖の分野から貢献できるよう、役職員一丸となって取り組んでまいりますので、変わらぬご指導とご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人
ジェネティクス北海道

理事長

篠原 末治





令和5年度

牛に係る家畜人工授精に関する講習会開催要領

牛に係る家畜人工授精師を養成するため、次により講習会を開催する。

1 講習会

- (1)開催者：一般社団法人ジェネティクス北海道
- (2)期 日：令和5年5月8日(月)から同年6月1日(木)まで
(日曜日を除く22日間)
- (3)場 所：ジェネティクス北海道 繁殖技術研修センター
上川郡清水町字御影南2線73番10
一般社団法人ジェネティクス北海道 十勝北見事業所内
- (4)受講資格：牛に係る家畜人工授精師の免許を取得しようとする者で、家畜改良増殖法第17条の規定(別記参照)に該当しない者。なお、既に資格取得済みの者(獣医師を含む)の受講は認めない。
- (5)受講人員：30名以内(新型コロナウイルス感染症の状況により人員数を決する)
- (6)選考方法：希望者が受講人員を上回った場合は、選考試問により選考する。
ア 推薦：家畜人工授精事業を実施している農業協同組合又は農業共済組合の職員(採用予定者を含む)であつて、授精業務に従事する予定の者
イ 一般：上記(推薦)以外の者については、書面審査及び選考試問を行う。選考試問は、牛を中心とした畜産に関する一般知識及び中学校理科の生物に関する知識を最低基準とした問題(遺伝、ホルモン、消化吸収等)の筆記試験とする。
- (7)講習科目：家畜改良増殖法施行規則第23条に定められた科目及び時間数

2 修業試験 学科及び実習

- (1)日 時：令和5年6月1日(木)及び2日(金)
- (2)場 所：上記1の(3)に同じ

3 受講手続

- 次の書類を一般社団法人ジェネティクス北海道理事長あて提出する。
- ア 推薦：受講願書(別記様式A4)及び履歴書(市販様式・本人確認可能な写真を貼付)
○推薦書は、所属の組合長が発行し、所属保障と推薦理由を記載。
- イ 一般：受講願書(別記様式A4)及び履歴書(市販様式・本人確認可能な写真を貼付)
○履歴書には、家畜人工授精師を志望する理由を明記すること。
○選考試問の実施期日及び場所については、別途本人あて通知する。
○選考試問は、4月4日(火)に札幌市及び清水町で実施予定。
- 提出期限：令和5年3月6日(月)必着とする。

4 受講料

100,000円(納入については受講決定時に別途通知する。)

5 受講許可

受講許可又は不許可については、書面で本人あて通知する。

6 その他

- (1)宿泊場所の確保が必要な者は、各自がビジネスホテル等に申し込むこと。
なお、車中又はテント内で宿泊する者は受講を認めない。
- (2)本講習会が中止となった場合以外、提出された書類は返却しない。
- (3)受講願書等の送付先及び講習会についての問い合わせ先は次のとおり。

一般社団法人ジェネティクス北海道 生産技術部
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1 北農ビル13階
Tel.011-242-9644 Fax.011-242-9651

受講願書(別記様式A4)様式は、当団ホームページからダウンロードできます。

受 講 願 書

年 月 日

一般社団法人ジェネティクス北海道
理事長 篠原 末治 様

所 属

本籍地(都道府県名)

現住所

氏 名

印

昭和・平成 年 月 日生

牛に係る家畜人工授精に関する講習会を受講
したいので、関係書類を添えて提出します。

[日本工業規格A4]

家畜改良増殖法第17条の規定(家畜人工授精師の免許を与えない場合)

第17条 この法律、家畜伝染病予防法、医薬品、医療機器の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、獣医師法、獣医療法若しくは家畜商法又はこれらの法律に基づく命令の規定に違反し、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から二年を経過しない者には、前条第一項の免許(家畜人工授精師の免許)を与えない。

2.次の各号のいずれかに該当する者には、前条第一項の免許を与えないことができる。

- 一 心身の障害により家畜人工授精師の業務を適正に行うことができない者として農林水産省令(注)で定めるもの
- 二 麻薬又は大麻の中毒者
- 三 家畜伝染病予防法、医薬品、医療機器の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、獣医師法、獣医療法若しくは家畜商法又はこれらの法律に基づく命令の規定に違反し、罰金以上の刑に処せられた者(前項に規定する者を除く。)
- 四 この法律又はこの法律に基づく命令の規定に違反した者(前項に規定する者を除く。)

3.都道府県知事は、前項第一号の免許を申請したものについて、前項第1号に掲げる者に該当すると認め、同項の規定により免許を与えないこととするときは、あらかじめ、当該申請者にその旨を通知し、その求めがあったときは、都道府県知事の指定する職員にその意見を聴取させなければならない。

注：農林水産省令(家畜改良増殖法施行規則第26条の2)

- 一 視覚、聴覚、音声機能若しくは言語機能又は精神の機能の障害により家畜人工授精師の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者
- 二 上肢の機能の障害により家畜人工授精師の業務を適正に行うに当たって必要な技能を十分に発揮することができない者

H黒-312「鉄晴幸」のふるさとを訪ねて ～登別市 井野牧場～

登別市

北海道の南西部に位置し、南側は太平洋に面し北側は支笏洞爺国立公園をはじめとする豊かな自然に囲まれる登別市は、夏場は25℃を超える夏日が少なく、冬は北海道の中では比較的温暖で雪が少ない地域です。また、登別温泉や様々な観光地を抱える北海道有数の観光都市であるとともに、酪農畜産・水産業・重工業も盛んな人口約4万5千人の都市です。

今回は当団の黒毛和種種雄牛として令和4年9月に新規選抜されたH黒-312「鉄晴幸」の生産者である井野牧場さんにお話を伺いました。



井野牧場

井野牧場は昭和45年に祖父の静揮さんが登別市で繁殖牛60頭を導入して入植し、現在は嘉久さんご夫妻、お父様の知弘さんご夫妻4人の家族経営です。牛舎はキング式牛舎1棟、平屋牛舎2棟の牛舎形式で繁殖牛64頭、総頭数約100頭を飼養しており、令和3年度は30頭の素牛出荷実績のもと、黒毛和種繁殖経営をされています。



井野嘉久さん・由貴子さんご夫妻



井野牧場牛舎外観

今回取材にご協力いただいた嘉久さん、由貴さんは当牧場の3代目。小学生のころからバドミントン日本一を目指していた嘉久さんは、高校時代に個人戦で全国2位を2回、大学3年生時のインカレ団体戦で日本一を経験し、卒業後も実業団選手として大活躍されていました。長年両親が守ってきた牧場を継承し守っていききたいと約5年前に登別へUターン、家業を継がれました。

種雄牛造成と牛群管理



H黒-312「鉄晴幸」(幸紀雄×平茂晴×安福久)

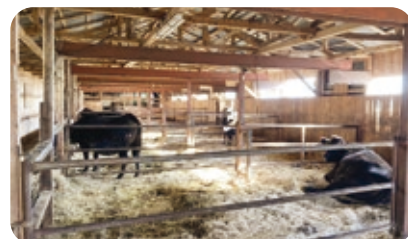
当団繫養種雄牛のH黒-312「鉄晴幸」は平成29年に井野牧場により生産された気高系種雄牛です。平成30年度現場後代検定成績ではBMS No.9.6、枝肉重量490kgを記録、令和4年度7月北海道育種価では脂肪交雑順7位にランクされ、系統を選ばず優れた枝肉成績を残しています。

「鉄晴幸」の母である「てつはれ9742」は長く北海道育種価で上位に評価されている「てつせん」の娘牛です。「てつはれ9742」は「愛之国」「福之姫」による娘とともに井野牧場の重要な血統となっています。井野牧場では「てつはれ9742」の他にも育種価の高い繁殖雌牛が繫養されており、育種価やゲノムを意識して後継牛を残していきたいとおっしゃっていました。

飼養管理の面では、繁殖牛は広々としたパドックで放し飼いされており、牧草ロールを常に食べることができる環境で管理されています。育成牛は離乳後まずは2頭



広々とした繁殖牛のパドック



分娩房の様子

のマスで管理、親の群に混ざる際は若い牛が牛群の中でいじめられないように同じマスの2頭を同時に入れるなど工夫されているそうです。また、出産の近い牛は敷料がたっぷり敷き詰められた広い分娩房で管理されています。人に慣れている牛が多く、ご夫妻の牛に対する愛情のこもった管理が感じられました。



分娩房の近くにはお札と安産お守りが飾られていました

IoTの導入やSNSを活用した情報収集

井野牧場はご自宅と牛舎の間に距離があり、発情と分娩の観察のために毎日朝晩牛舎へ通われているのですが、よりタイムリーな情報を得るために「IoT」（「Internet of Things」の略。モノのインターネットと訳され、今までインターネットに繋がっていなかったモノがインターネットを経由して通信すること）の導入を行っています。

井野牧場ではファームノート社の発情発見器を導入しており、発情兆候を検知してスマートフォンなどで確認できるようになっています。個体差があるので牛によってはうまく結果が出ない場合もあるそうですが、行動量をグラフで可視化でき通知が来るため発情が発見しやすくなったそうです。個体の情報を事前にデータベースに入れておくことで授精月日や分娩日などの個体情報の確認が常にできるようになったため、繁殖台帳のようにして活用されているとのことでした。



分娩房を見守るWebカメラ

また、分娩房にWebカメラを導入。母牛の様子をタブレットで常に観察でき、必要なタイミングで分娩の介助ができるようになったため今年度は事故も減少したそうです。

SNSを活用した情報収集も行っていて、トレンドの種雄牛の掛け合わせや病気、使用する薬品など様々な情報を参考にしています。「自分の地域に合った情報なのか選別を行いながら、たくさんの情報に振り回されないよう自分できちんと判断することを心がけています」とおっしゃっていました。

今後の目標

「両親や地域の生産者の皆さん、農協の職員さんから教えていただきながら、これからも『鉄晴幸』のような牛を生産できるように頑張っていきたい」と今後の目標についてお話しいただきました。

今回、お忙しい中ご対応いただきました嘉久さん・由貴子さんに深く感謝するとともに今後ますますのご活躍を祈念いたします。

(道央広域事業所 武内 美帆)



令和4年度第2回(第43回)

牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会修業試験合格者

令和4年10月17日から11月2日の間実施した「牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会」で、次の方々が修業試験に合格されました。

青木 祐樹	大浦 寛貴	小林 龍祈	中川 裕元	宮部 雄介
天野 雄斗	笠原 真優	志賀 和牙	中村 圭介	三輪 孝寛
石倉 夏樹	加藤 巧也	嶋 侑香	饒村 紫	森重 雅也
伊藤 崇	加藤 政晴	杉本 慶太	野口 源太	矢部 美幸
伊藤 彪義	北脇 貴史	須藤 忠光	能瀬 拓実	山下 光
遠藤 嘉裕	小池 慧美	土橋 広大	淵上 恵以	

(順不同、敬称略)

北神居と戦った鹿児島全共

昨年10月6日から10日、鹿児島県にて第12回全国和牛能力共進会が開催されました。第1区 若雄に当団より「北神居」号を出品、見事に優等賞5席を獲得しました。その北神居の造成から調教、大会本番での様子などをお伝えすべく、当団職員小林さん、廣瀬さんに取材を行いました。



きた かむ い
H黒-377「北神居」号
【審査得点】87.4点
【生年月日】令和3年2月25日
【生産者】平取町 賀集 昭知 氏
【血統】梅栄福×勝早桜5×百合茂



小林さん
道央種雄牛センター種畜管理課 所属

勤続22年の種雄牛管理のエキスパート。前回宮城全共でH黒-293「英貞」の引き手を務める。今大会でも北神居の調教、引き手を務め、2度目の全共出場を果たす。



廣瀬さん
事業推進部 肉牛改良課 所属

日々、種雄牛造成のために道内外各地を駆け回っている。前回大会から全共候補牛の造成だけでなく、当団の全共すべてを取り仕切る中心的存在。

北神居誕生!

全共候補牛の造成に動き始めたのはいつ頃ですか?

廣瀬: 2018年から母牛探しや調査を行っており、その後採卵など交配を始めたのは2020年からです。

「今大会から出品条件にしぼりが厳しくなったとか。」

廣瀬: これまでも一定水準以上の出品条件が設定されてきましたが、今回はさらに「地域における特色ある系統の再構築を将来にわたって担うことのできる種雄牛」という条件が付加されました。北海道で古くから代々保留されてきたびらとり和牛育種組合の「やまとみ55」系、十勝和牛育種組合の「第1やまさかえ」系の二系統の中での取り組みとなり、各系統の中で種雄牛造成を取り進めることになりました。

その後、北神居が生まれてくるまでにも困難があったとお聞きました。

廣瀬: 当団は「やまとみ55」系での取り組みを行うことになりました。母牛の体型、産肉能力を確認して取り組みましたが、受胎状況を含め、様々な条件にあう繁殖雌牛が2頭のみ。そこへ通常の採卵だけでなく、OPU技術を活用しましたが、雄牛の生産が思ったよりもあがらず、非常に苦戦しました。

「北神居」という名号の由来は何ですか?

廣瀬: 引き手の小林さんが発案です!生産地の平取町は北海道のアイヌ文化の拠点の一つで、名号からも北海道の牛であることが全共の舞台でも皆さんに伝わると思い決めました。

事業推進部内でもどんな名号が良いかなと話していました。一番印象に残っているのは「梅男爵」(父の梅栄福から一文字とった)です。無事にかっこいい名号になって良かったです!

北神居を初めて見たときの印象はどうでしたか?

廣瀬: 無事に生まれてきてくれて本当に良かったと思いました。損微もなく、導入できる!と嬉しかったです。

小林: 体がうすいな…。全共で勝負できるか少し不安でした。まだ人馴れしておらず、警戒心いっぱいという感じ。



GHの牛舎に入った時の北神居

毎日ヨツヨツ調教

調教を始めたのはいつ頃ですか?

小林: 本格的に始めたのは4月。繋ぎ運動をメインに行いつつ、人馴れさせるために北神居にぴったりくっついてブラッシングしたりしていました。



小林さんにブラッシングしてもらう北神居

北神居は小林さんに懐いているように見えました



北神居専用の特製餌箱

小林：懐っこいタイプではないので、人馴れさせるためにかなり時間をかけました。最初はくつくと嫌がっていました(笑)。1ヶ月くらいで馴れましたね。

北神居の房の横でずっとラジオをかけていたのも印象的でした。人の声、ざわめきに慣れさせるための工夫です。餌箱も北神居だけの特別仕様でした。肩付きが悪くならないよう、顔を下げなくても餌を食べられるようになっています。至れり尽くせりです。

その後の調教は順調でしたか？

小林：5月のGW明けから追い運動を開始しました。最初から思ったより歩けていました。全共用に作った砂地運動場で歩かせ、足腰を鍛えました。長い時間歩かせるより、柔らかい地面を短時間歩かせた方が、負担が少なく鍛えられるかなと。6月頃からは土日でも出社して、ほぼ毎日やっていました。

和牛とホルスタインでは調教や牛の引き方がまったく違います。和牛は追い綱一本で、牛の右後ろから指示を出します。牛のお尻を手で押したり鼻環を引っ張ったりする訳ではなく、追い綱を引いたり牛の頬に当てたりして指示を出します。



砂地運動場での調教

英貞のときはかなり苦労されていたとお聞きました。

小林：英貞はなかなか言うことを聞いてくれず、止まったら動かず、歩き始めると引きずられ…という感じで大変でした。北神居もなかなかやんちゃではあるんですが、英貞より優秀でしたね。

調教のとき、北神居はどんな様子でしたか？

小林：追い運動を開始すると、最初はスタスタ歩いてくれるんですが、飽きてくるとノロノロと致し方なく歩くという感じで(笑)。そうなってくると歩かせるのはちょっと大変でした。

確かに全共本番でも、審査会場入場時スタスタ歩いていました。小林さん!ほら、行くよ!!という感じの勢いで、元気いっぱいの子がかわいかったです。



審査会場で元気よく歩く北神居

全共出発前に北海道牛削蹄師会の阿部優理事に北神居の削蹄をしていただきました。当団種雄牛の削蹄は熟練の職員が行っていますが、全共直前ということで北神居だけVIP待遇です。阿部理事、ありがとうございました。



北海道牛削蹄師会の阿部優理事による削蹄

いざ!鹿児島へ

今大会、鹿児島までの移動に7日間と、相当大変だったと思いますが…(前回宮城大会の移動は2日間)

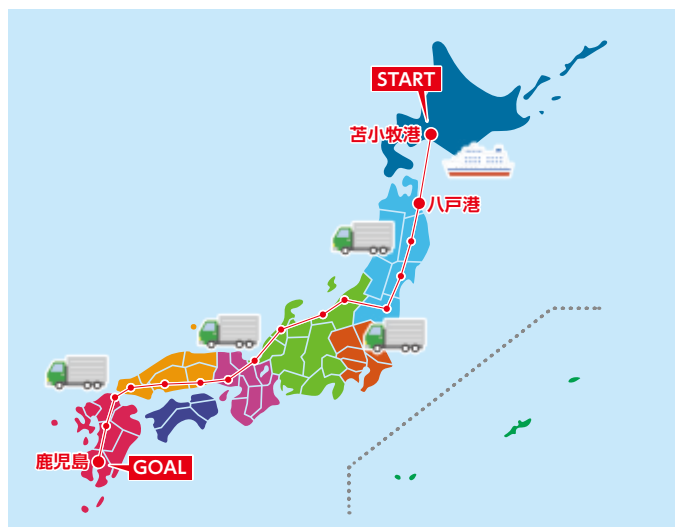
小林：宮城は楽勝でしたね(笑)。フェリーに乗って降りたらもう会場という感じの近さだったので。鹿児島までは本当に大変でした…。牛を積んだトラックの後ろを、ハイエースに乗って付いて行くという感じ。ハイエースを交代で運転し鹿児島まで移動しつつ、途中途中のPAやSAで牛の状態を見て、餌と水をやり…本当に辛かったです…。



全共へ向けて出発!



苫小牧港から八戸港をフェリーで、その後鹿児島まで陸路での移動でした。水を汲めるPAやSAが決まっているので、そこまで行かないといけない、しかしトラックの運転手さんの運転時間には規定がある、というなかなか大変な出品牛の輸送。毎日早朝からの移動だったとのこと、本当にお疲れさまでした。



ざっくりとした今回の移動経路。ほぼ日本縦断

移動中の北神居は元気でしたか?大人しくしていましたか?

小林: 大人しくはなかったですね! 隣に十勝家畜人工授精所さんの牛(「愛勝平」号)もいたので、しきりに気にしていました。なるべく近づかないように対策していましたが、給餌の時は2頭で頭を突き合わせて遊んでいました。移動途中、思ったより飲んで食べてくれていて、元気にしていました。



左:愛勝平号 右:北神居

英貞は移動で体重が30kg落ちたそうですが、北神居はどうでしたか?体調等は問題ありませんでしたか?

小林: 北神居も落ちましたね。40~50kg落ちました。落ちるのを見越して北海道でたくさん食べさせていたので想定範囲内。特に問題はありませんでした。

会場での調教は普段通りできましたか?

小林: 会場入り直後は他の牛がいるのでソワソワしていましたが、すぐに落ち着いていました。調教も北海道での練習通りにできていたので安心しました。

英貞は会場入り後、調教を始めた頃のやんちゃな英貞に逆戻りし、小林さんを青ざめさせた、という恐ろしいエピソードを持っています。



会場入り直後の北神居

全共期間中も引き続きかなりハードだったそうですが。

小林: 本当に大変でした…毎朝4時出発で会場入り、こんなに過酷だとは思いませんでした…。バスでの移動中はみんな睡眠時間にあててましたね。

出品団の方のスケジュール表を見てびっくりした記憶があります。皆さん早朝から遅くまで牛の世話と調教でグッタリしておられたでしょう。小林さん含め、出品牛の輸送に帯同した方はさらに大変だったかと思っています。本当に本当にお疲れさまでした。

ドキドキの大会本番、そして優等賞5席!

審査はやはり緊張しましたか?

小林: 前回宮城大会は初めてということもあって余裕がなかったのですが、今回はだいぶ落ち着いて楽しむことができました!他の出場牛を見る余裕もありました。



北神居と小林さんを応援する職員

前回宮城大会は英貞とともに戦い、優等賞4席という好成績を残しました。プレッシャーはありましたか?

小林: プレッシャーは特に感じていませんでした。もちろん上位に入れるよう頑張ってきたので、良い結果が残せればとは思っていました。北神居も良く仕上がっていて、上位に入れるかなと思っていたので。廣瀬さんや周りの方からは「上位目指そう!」というプレッシャーをかけられていましたが(笑)。

廣瀬: 次回開催場所の種雄牛としても見られると思うと、上位に入賞したいという気持ちと共にプレッシャーはありました。でも、小林さんが北神居のベストパフォーマンスを発揮できるよう日々取り組み続けていたので不思議な安心感がありました。



審査中の様子

■ 序列が決定したときの心境を教えてください。

小林: ホッとしました。良かったなあと。どんどん牛が引き出されていき序列が決まるのですが、その時間はドキドキしました。鹿児島や岩手の牛が呼ばれ、他にも良い牛がいたのでダメかなと思いましたが、呼ばれて上位に食い込めたので良かったです。

廣瀬: ホットしたのが最初の気持ちです。上位に入ることができた喜びと、前回大会以上の結果を残せなかった悔しさもありました。

審査員の方が歩き周り、前に引き出す牛に合図を出すのですが、審査員が北神居に近づいてくると「おお!!」となり、通り過ぎると「ああ〜!!」となり一喜一憂しながら審査を見ていました。私もドキドキしました。そして、優等賞5席(全国第5位)という素晴らしい結果を残すことができました!



序列決定後、北神居をなでる小林さん



北神居に合図が出た瞬間

■ 審査終了後、とても晴れやかな顔をされていました。

小林: やっと終わった〜!!と思いました!!開放感がありました。

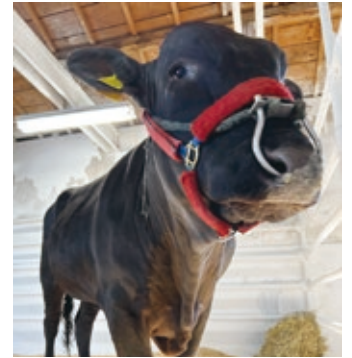
こんな満面の笑みの小林さん、初めて見たかも!と思いながら撮影していました。小林さんだけでなく、他の職員もみんな素敵な笑顔でした。



審査終了後の北神居と小林さん

■ 帰ってきてからの北神居はどうですか?

小林: 相変わらずやんちゃで、採精も始まりましたが、乗駕の勢いがすごいです。みんなに「このやんちゃさでよく全共出れたね」と言われます(笑)。元気いっぱいです。



北海道到着直後の北神居

■ 北海道全共に向けて

2027年の第13回全国和牛能力共進会の開催地が北海道に決定されました!北海道といえば酪農のイメージが強いと思いますが、肉牛生産の産地としても着実に力をつけてきています。

■ 次回、北海道全共への意気込みを教えてください。

小林: 多分出ると思うんですが、若い子と一緒に出て引き継いでいければ良いですね。

廣瀬: 次回は、地元北海道での開催予定です。さらに出品条件が厳しくなるかもしれませんが、体型、産肉能力だけではなく+αを持つ特色ある北海道産種雄牛で挑戦したいです!

■ お互いに一言お願いします!

小林: 廣瀬さんがいてくれたので助かった場面がたくさんありました。感謝しています!

廣瀬: 雨の日も風の日も、日々の業務もありながら調教も手を抜かず取り組まれていました。本当にご苦労さまでした。その大変さが北神居のベストパフォーマンスにつながり、また、その結果を全国の方に見てもらうことができました。ありがとうございました!



たくさんの方にご協力いただき、大会本番を迎えることができました。北神居の生産者である賀集さま、北海道出品団や各関係機関の皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

第28回 NAAB人工授精と繁殖に関する技術会議に参加して

令和4年9月21日～23日の3日間、第28回 NAAB人工授精と繁殖に関する技術会議に参加いたしましたので、ご紹介いたします。

今回の会議はアメリカ合衆国ウィスコンシン州ミルウォーキーでの開催となりました。ミルウォーキーは同州最大の都市であり、機械や印刷などの工業が盛んであると同時に、小麦の主産地でもあり、札幌・ミュンヘンと並び世界3大ビール生産地として有名です。また、ミルウォーキーでは多くのプロスポーツチームの活動が盛んであり、日本人プロ野球選手の青木宣親や野茂英雄がかつて所属していたブルワーズの本拠地としても有名です。



▲ミルウォーキーの街並み

National Association of Animal Breeders(NAAB)は、1946年に遺伝資源向上と凍結精液の拡販を目的として、アメリカ国内約20の授精所が加盟して設立された人工授精事業体の業界団体です。NAAB繁殖技術会議は、2年に一度開催され、人工授精・凍結精液生産に関する話題および繁殖技術に関する最新の情報を提供・共有する貴重な情報交換の場となっています。



▲会議の様子 開会の挨拶をするJay Weiker氏

今回の会議は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により4年ぶりの開催となりました。発表された演題は15題、これらの中からいくつかご紹介いたします。

酪農経済における牛肉事情

(Jeremey Howard氏、Simplot Animal Sciences)

2018年、アメリカにおける牛肉市場全体の約22%を乳用牛の牛肉が占めていました。そういった背景から、近年、テキサス州だけでもかなりの頭数の肉用牛が減りました。実際のところ、乳用牛がプライムビーフ(米農務省による牛肉の8つの肉質等級(ランク)で、最上級の霜降り肉)の供給に貢献しているのが現状です。また、乳用牛に肉用牛の種を授精することで得られる交雑種も、牛肉市場において安定して価値が高く人気があります。現在、多くの生産者が肉牛精液の取入れに力を入れ、交雑種の生産を選択しています。さらに近年では、肉用種受精卵の乳用牛への移植も注目されています。酪農事業において今後大事なことは、牛肉市場に使われる乳用牛を効率よく作り、いかに付加価値を付けていくかであると提唱されていました。

飼料効率における種雄牛の効果について (John Cole博士、URUS)

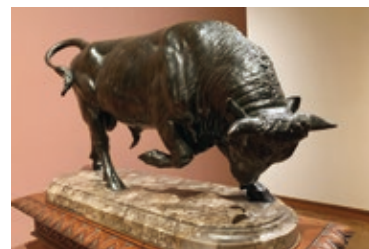
乳用牛の生産にかかる総コストの約40%は飼料が占めています。従って、飼料の消費量を少しでも減らし、牛が摂取した飼料を乳に変える効率を可能な限り向上させることが、酪農事業の経済全体に大きな影響を与えることになります。そのためには、まず牛が摂取する飼料を正確に測定し、そして乳などの生産物へと変換する飼料効率を測定する必要があります。少し前までは、これらの測定は非常に困難で、とても費用が掛かりました。しかし現在は、種雄牛のゲノム評価により、安価かつ容易に多くの情報を得ることが出来ます。飼料効率も遺伝子制御下にあるため、以前に比べてはるかに低コストで飼料効率を測定・推測することが可能な時代になりました。今後、遺伝的な選択によって、乳用牛の飼料効率は継続的かつ恒久的に改善していくだろうとJohn Cole博士は推測していました。

液体窒素タンクの使用上の注意

(Cory Rakes氏、MVE Biological Solutions)

現在、現場では30～40年物の古いタンクがまだ稼働しています。タンクの寿命は通常で10～15年ですが、場合によっては30～40年使えるタンクもあります。

タンク内部を、温めたり冷やしたりすることを繰り返すと、タンクの寿命が短くなる可能性が高まります。また、タンクの輸送には、保護力があるプラスチックコンテナを使用すると良いです。コンクリートの上に直にタンクを置くと、タンクのアルミとコンクリートのアルカリ成分が化学反応を起こし、タンクに小さな穴が開くことがあります。従って、タンクはこの状態あるいは板状の木製の台の上などで換気の良い場所に保管することが推奨されます。タンクの寿命を長持ちさせ、貯蔵している凍結精液の品質を保つための、液体窒素タンクの正しい使用に関しての報告でした。



▲ミルウォーキー美術館に展示してあった雄牛の像

最後に、私は種雄牛に関わる業務に携わってまだ日が浅いこともあり、見るもの聞くもの、多くのことが本当に新鮮で、衝撃や感動の連続の3日間でした。さらに、周りは外国人ばかり、耳に入ってくるのはすべて英語で、文字通り「言葉を失って」しまいました。ここで紹介させていただいた以外にも多数の情報を得ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。次は、この技術会議の場で、私が有益な情報を世界に提供する側になれるようにこれからも頑張っていきたいです。

(生産技術部 家子 貴裕)



令和4年度後期 新規現場後代検定実施種雄牛の紹介

当団では、黒毛和種種雄牛能力評価の為に公益社団法人全国和牛登録協会の和牛産肉能力検定現場後代検定法(以下:現場後代検定)による年間8頭の種雄牛の現場後代検定を実施しています。

令和4年度後期分の現場後代検定実施種雄牛を2回に分けて紹介させていただきます。

H黒-376 武白清

【タケシラキヨ】

13994-2415-6 黒原 6492 令和3年1月8日生
得点83.1点 生産者:豊頃町 (株)武隈ブリーディングファーム

百合白清2	百合茂	平茂勝
	みどり	白清85の3
ゆみえ	安福久	安福165の9
	たけくに09	勝忠平



母「ゆみえ(父:安福久)」は十勝和牛育種組合育種牛に認定されており、脂肪交雑2位(平成30年7月北海道育種価)をはじめ、長きにわたり上位にランクし続け、初産の雌肥育(父:芳之国)で格付A-5、枝肉重量615kg、ロース芯面積83cm²、BMS No.11、34産目の去勢肥育(父:美国桜)で格付A-5、枝肉重量504kg、ロース芯面積86cm²、BMS No.12を記録した高育種価雌牛です。

その母に産肉能力に優れる鳥取県有牛「百合白清2」を交配した本牛は、十勝和牛育種組合の育種事業の取り組みとして生産され、産肉能力の改良に期待する種雄牛です。

本牛は腰幅があり、体上線が強く、尻型、骨じまりの良い気高系種雄牛です。



▶ MOVIE

H黒-377 北神居

【キタカムイ】

14227-9698-4 黒原 6493 令和3年2月25日生
得点87.4点 生産者:平取町 賀集 昭知 氏

梅栄福	北乃大福	安福(岐阜)
	うめこ	勝忠平
やまとみ30	勝早桜5	勝忠平
	ゆりかめ	百合茂



母「やまとみ30(父:勝早桜5)」は優秀な雌牛を多数輩出している「やまとみ55」の系統雌牛であり、3産目の去勢肥育(父:勝早桜5)で格付A-5、枝肉重量541kg、ロース芯面積79cm²、BMS No.12を記録した祖母「ゆりかめ(父:百合茂)」と2代にわたり、びらとり和牛育種組合育種牛に認定された系統雌牛です。

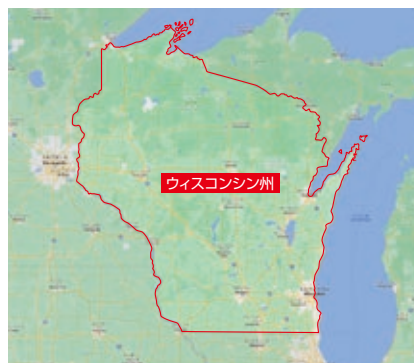
その母に当団繋養種雄牛である「梅栄福」を交配した本牛は、発育が良く、体積が充実し、均称、品位に優れ、審査得点は「英貞」に次ぐ87.4点を記録し、第12回全国和牛能力共進会にて第1区「若雄の部」において優等賞5席を獲得した「梅栄福」の後継種雄牛です。



▶ MOVIE

アメリカの体型審査

乳牛改良課では10月に資源調査のためアメリカを訪れました。SIRE7月号では北米の酪農情勢についてご紹介しましたが、今回はアメリカホルスタイン協会の体型審査員に同行した審査研修についてご紹介したいと思います。



アメリカで2番目に牛の数が多し「Dairy Land(酪農王国)」ウィスコンシン州

今回体型審査に同行した地域は、ワインで有名なカリフォルニア州に次ぐアメリカで2番目に牛が多い酪農地帯ウィスコンシン州でした。ウィスコンシン州はアメリカ合衆国の中西部の最北に位置し、東側はミシガン湖、北東はミシガン州、西側はミネソタ州とアイオワ州、南側はイリノイ州、北側はスペリオル湖に接しています。州都はワールドデイリーエキスポの開催地であるマディソン市であり、州全体の搾乳牛頭数は127万頭、酪農家戸数6,553戸と北海道の2.7倍、日本全体の1.4倍以上の搾乳牛頭数となります。今回は5日間で10農家、約880頭のホルスタイン体型審査に同行しました。

日本とアメリカの体型審査について

< 日本 >

- 1.Frame:体貌と骨格(25%)
- 2.Feet&Leg:肢蹄(20%)
- 3.Dairy Strength:
乳用強健性(15%)
- 4.Udder:乳器(40%)

< Max score >

- 2歳1産 VG-87
- 3歳2産 VG-89
- 4歳3産 EX-90~

※EX-93以上は約1ヶ月以内に別の審査員が再確認。後者に決定権

< アメリカ >

- 1.Front End and Body Capacity:(15%)
- 2.Dairy Strength:(20%)
- 3.Rump:(5%)
- 4.Feet and Leg:(20%)
- 5.Udder:(40%)

< Max score >

- 2歳1産 VG-89 ■3歳2産 EX-92
- 4歳3産 EX-94 ■5歳4産 EX-97

※5歳3産ではEX-95まで
※EX-95以上は約1ヶ月以内に審査員2名が再確認。2/3承認で決定

*Excellent:90~97 *Very Good:85~89 *Good Plus:80~84 *Good:75~79 *Fair:65~74 *Poor:0~64

体型審査について

体型審査について、第一に年齢と産次に応じた体の構造、乳器構造が最も重要です。これは日本とアメリカ両国の体型審査に共通している点ですが、評価項目についての表現は異なります。日本では①体貌と骨格(25%)、②肢蹄(20%)、③乳用強健性(15%)、④乳器(40%)の4項目について評価するのに対して、アメリカでは①Front End and Body Capacity:前軀から中軀にかけての構造と容積(15%)、②Dairy Strength:乳用強健性(20%)、③Rump:尻構造(5%)、④Feet and Leg:肢蹄(20%)、⑤Udder:乳器(40%)の5項目があり、肢蹄ではLocomotion(歩様)も調査しています。これらをBreakdown(ブ

レイクダウン)と言い0~100点までの範囲で評価します。Breakdownを総評した決定得点をFinal Score(ファイナルスコア)といいます。線形評価について日本は1~9(中央値5)で評価するのに対し、アメリカでは1~50(中央値25)で評価します。

体貌と骨格の評価はFront End and Body Capacityという前軀から中軀にかけての構造と容積を評価する項目があります。具体的には胸の幅や肋腹の充実、肋の開張度合いがチェックされ、胸幅があり前肋から開張した牛が高評価になります。さらにRump(尻構造)は独立して評価されます。

最大得点については2歳で89点、3歳で92点、4歳で94点、5歳で97点と日本と大きく異なります。いずれの最高得点も年1産していることが条件で5歳3産の場合には95点が上限となります。

多くの初産、経産牛を見た中で牛のサイズは日本より小さめであり、アメリカにおける初産牛の平均体高は145cmとなっています。サイズ小さめでありながらも体の幅、肋の開張に優れ、経産牛では乳房底面が高く、飛節の腫れが少ないことがアメリカの乳牛において優れている点といえます。一方、問題点として特に経産牛では直飛が多かったです。また初産牛から経産牛まで後乳頭の配置が近い牛が多く見受けられました。乳頭配置は主要形質とされていますが、アメリカでは大きな減点とはしていませんでした。

飛節の腫れが少ない要因として、多くの農場では広大な畑で収穫された自給飼料が一般的であり、ドライコーンよりもデントコーンサイレージやソルガム、アルファルファ、グラスサイレージを用いたTMR給与から乾物摂取量を高めていること、多くのフリーストール農場で敷料に砂が用いられていることなど飼養環境に起因すると考えます。飛節の腫れの評価については横の腫れは飼料や牛床が原因となる場合が多いため大きな減点とせず、前後の腫れでは骨や関節の異常であることが考えられるため減点対象としているとのことでした。

また乳器の評価について、例えば盲乳(3本乳)の牛や機能減退がみられる牛に対しても左右の良い方を評価し、おおよそ平均点として得点を決定すること、農家の希望があれば3本乳や乾乳も審査対象として得点を付け評価されます。これらの点については遺伝形質について評価することが体型審査の目的であるため、対象牛本来の姿として評価をしているとの説明を受けました。

それでは実際に日本と異なる評価であると感じた牛をいくつか紹介したいと思います。

▼以下の写真7頭のファイナルスコアをぜひ予想してみてください▼



【写真3】11歳7産



【写真4】10歳8産



【写真5】6歳5産



【写真6】4歳3産



【写真7】4歳3産



【写真8】4歳3産



【写真9】3歳2産

【写真3】92点。正確な尻、肢蹄の構造と乳器の付着の強さを評価。

【写真4】90点。分娩から1週間程度。前乳房の付着のスムーズさ、乳房底面の高さ、肢蹄、尻構造に優れると評価。

【写真5】90点。後乳房の高さ、幅、乳房底面の高さ、肋の開張に優れると評価。

【写真6】78点。乳器66点。産次に比べ乳房が大きすぎると評価。

【写真7】90点。バランスに優れ、正確な骨格と肢蹄、尻、乳器構造を持つと評価。

【写真8】88点。乳器87点。中躯が充実しており乳器の構造も良い。胸が浅めであり乳用強健性について改善のポイントであると評価。

【写真9】89点。乳器92点、尻90点、肢蹄87点、前軀から中軀の構造と容積87点。乳器の構造と幅を高く評価。

これらの審査結果を見ていかがでしょうか。最大得点からもわかるように得点の振りが大きく、同じ90点でも様々なタイプの牛がいることが見てくるかと思います。年齢と産次を考慮し各部のBreak Downを決定、そしてFinal Scoreが決定されます。

では、産次を重ねても乳房の付着が強く、高い乳房底面を保てる秘訣はどこにあるのでしょうか。それは「乳房の皮膚の薄さと柔らかさ」です。実際に分娩後3日程度の牛を見ても過剰に肥大した乳房や浮腫を持つ牛は少なく、分娩後日数を聞いて驚くことが多々ありました。

スコアリングする際は1頭あたりにかける時間が1分程度であることも審査頭数が多いアメリカならではと感じました。研修最終日の牧場では牛を入れ替えながら350頭を審査し、総審査時間は11時間に及びました。牧場オーナー、スタッフ、審査員ともに休憩なしで作業を行う姿も「アメリカらしいなあ」と感じた瞬間です。

(事業推進部 乳牛改良課 鈴木 ひかる)





1月号「おはなちゃん」



3月号「反芻3」



5月号「勝美糸」



7月号「北美津久」



9月号「目が合う牛」



11月号「和牛と秋」

令和4年本誌表紙を飾った作品

作者…富田 美穂

第5回 GH絵画コンテスト



第5回 GH絵画コンテストが開催中です！
ただいま作品を大募集していますので
ぜひご応募ください！！

◆募集対象：18歳以下 ◆募集期間：令和5年3月3日◆必着

◆作品について

- ①〈テーマ〉：牛
- ②〈画材〉：自由（鉛筆、クレヨン、水彩絵具、油彩絵具、貼り絵など）
- ③〈様式〉：●大きさ…A4、A3、四つ切の3サイズ（指定の大きさ以外の作品は審査対象外となります。） ●用紙…画用紙
- ④〈応募区分〉：未就学児童の部、小学生の部、中高生の部
- ⑤〈応募方法〉：氏名、年齢、性別、住所、電話番号、応募区分、作品名を記載した用紙を作品裏面に貼り付けてご応募ください。
（団体でご応募の方は団体名・代表者名も記載してください。）
- ⑥〈送付先〉：〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13階（一社）ジェネティクス北海道 事業推進部 宛

◆審査・発表

- ①本誌表紙の作者でもある画家の富田美穂さんが審査に参加してください。
 - ②入賞された方には景品を進呈いたします。（景品は本誌9月号、HPをご覧ください。）
 - ③本誌令和5年5月号と当団ホームページで発表いたします。
 - ④ご応募いただいた作品は本誌SIREや当団HP、SNS、共進会などの当団ブースで掲載・展示させていただくことがあります。
- ◆その他：お送りいただいた作品は返却いたしません。

待ってまーす♪



応募と賞品
の詳細



藤田・藤元・
番場が行く!

Moo飲んだ? Moo食べた?

ステーキ29koma

皆さんお久しぶりです!以前、ローストビーフとシュクメルリを作ってみた番場です。久々の食レポ、しかもついに「作ってみた」ではなく、お店の美味しいお料理を頂く真の食レポに挑むことになりました!!今回は上司2人にがつりサポートを頂き、万全の態勢です。絶対に失敗することのない食レポですので、安心してお読みいただけるかと思います。

★ステーキ29koma



▲店主の駒栄美さん

今回食レポに訪れたのは時計台ビルに店を構える「ステーキ29koma」さん。ステーキ29komaは店主の駒栄美さんとお母様のお二人で切り盛りされています。2年前、「ステーキ29」というお店を引き継ぐ形でオープンしました。35年という歴史のある「ステーキ29」の店主がご高齢で引退される際、お肉を卸していた駒畜産さん(栄美さんの旦那様 駒尚慶さんが経営)にお店を引き継いでもらえないかとお声掛けがありました。元々お店を持ちたいと考えていた栄美さんが店主として経営することに。飲食店経営の経験がなく、しかもコロナ禍ということもあり不安はあったとのことですが、歴史あるお店を閉めてしまうのは忍びなく、30年以上通ってくださっているお客様もいらっしゃるということで引き継ぐことを決意されました。



▲左: ステーキ29の看板、右: ステーキ29komaの看板 店舗もそのまま引き継いだ

北海道和牛をリーズナブルでおいしく食べてもらいたいというコンセプトのもと、ランチを主体に経営されています。十勝和牛と白老牛をメインに、駒畜産さんでしっかり熟成されたお肉を頂くことができます。ディナーは基本予約制、お肉に合うワインと一緒に楽しめます!

★名誉賞のお肉

2022年10月22日に開催された第19回ジェネティクス北海道黒毛和種枝肉共励会で名誉賞を受賞した十勝和牛の枝肉をステーキ29koma(駒畜産)さんが購入されました。名誉賞のセリの時の心境をお聞きしたところ、「ドキドキしました!はじめから『絶対に買う!』と決めていたのでセリのボタンは離しませんでした(笑)」とのこと。こんな風に購買者の方に気合を入れてセリに臨んでいただけてとても嬉しいです!

枝肉購入後、駒畜産さんで熟成され、12月1日よりステーキ29komaさんで提供が開始されました。名誉賞のお肉はヒレステーキとモモ肉のローストビーフ丼として頂けます。なんと今回はヒレステーキで食レポさせていただくことになりました!!私では滅多に手が出せないヒレステーキ…ありがたく食べさせていただきます!!



▲名誉賞を受賞した枝肉
出品者: 音更町/山川克之様
血統: 勝早桜5×美国桜×安茂勝 雌 29ヶ月齢
枝重: 502kg ロース芯: 92cm
BMS No.12 格付: A-5



▲栄美さん(左)と当団専務近藤(右)
購買者賞の褒賞 牛の木彫りを贈呈しました!

★いざ実食!



▲ヒレと部長

ブロックで見た時は貴重なヒレといってもそれなりの大きさがあるんだなあなどと思っていたのですが、脂肪などを切り落とすと一回り以上小さくなりました。1頭からこれだけなのか!やっぱり貴重じゃないか!!と心の中で叫びつつ撮影(次のページの写真はヒレ全体の3分の2くらい)。ヒレは脂身の少ない部位ですが、このお肉は程よくサシが入っていて

見ただけで食欲がそそられます。



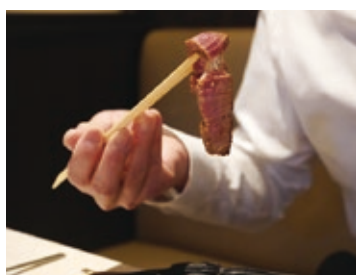
▲グリルからの鉄板でジュワツと！



お肉の焼く手順も手間がかかっており、まずはグリルでじっくり焼いて旨味を閉じ込めてから鉄板でさらに加熱という流れ。鉄板で焼く際にバターとオニオンスライスが盛られ、最後にしょうゆベースのソースを回しかければ完成！調理スペースがすぐそこなので、焼いているお



▲添えられている野菜、オニオンスライス、バターも北海道産。すべてにこだわりが詰まっています。



肉の香りをダイレクトに浴びることができます。これぞ飯テロ。

できあがりにはメディアムレア。ひとくち食べるとそのおいしさに「…ンフフ…」と笑いがこぼれます。外はふわっと中はぷりっとしていて、お肉の柔らかさにびっくり。噛むとお肉の旨味がじんわり広がります。オニオンスライスと一緒に食べるとサッパリ感が加わり、貴重なヒレステーキなのにガツガツ食べれてしまうという悩ましい現象が発生。夕飯前だったので白ご飯はなしで！と言ったのに「お米合いますよ」とい

う栄美さんの一言に陥落し、お肉→ご飯→お肉→ご飯…の罪深いループを体験しました。最高でした。お米も道産のななつぼしを使用しており、一粒一粒がツヤッとしていてとってもおいしいんです。ステーキと白ご飯の組み合わせは必須です！

味がしつこく食べ進めるごとに箸が重くなる、ということが一切なく、「ああ…なくなる…なくなってしまう……」と言いながらハイペースで完食。食べている途中、上司と目が合う度に「フフフ…」と笑い合い、言語化せずともおいしさを共有できてしまう最高の一皿でした。

★最後に

この1月号が発刊されている頃には、名誉賞のお肉は完売してしまっているかと思いますが、素晴らしい北海道和牛と駒畜産さんの熟成、ステーキ29komaさんの手間のかかった調理で、いつでもおいしいお肉を頂くことができますので、ぜひステーキ29komaさんへお立ち寄りください!!営業日は公式Instagramに毎月掲載されていますので、チェックをお忘れなく。

今回お忙しい中取材にご協力いただきました「ステーキ29koma」の駒栄美さんとお母様、ありがとうございました！

ステーキ29koma



札幌市中央区北1条西2丁目 札幌時計台ビル地下1階
TEL.011-221-4429

営業時間／ランチ……月曜～金曜 11:30～15:00
ディナー……月曜～土曜 17:00～20:30
※ヒレステーキ専門、要予約

定休日／日曜・祝日

【公式Instagram】

<https://www.instagram.com/steak29koma/>

【デリバリー (Wolt)】

<https://wolt.com/ja/jpn/sapporo/restaurant/steak-29koma>



公式Instagram

【重要なお知らせ】2023年から、サイアが変わります

この度、「環境負荷の低減」と「デジタル社会における新しいライフスタイルの創出」を目的として、機関誌「サイア」を、年間6回から年間4回の季刊発行に変更させていただくことになりました。サイアを毎号お楽しみいただいております皆さまにおかれましては、ご理解くださいますようお願い申し上げます。なお、「サイア」はスマートフォンやPCからも手軽にご覧いただけるようご用意いたしております。今後もこれまで以上に充実したサイアをお届けできるよう尽力してまいります。



一般社団法人
ジェネティクス北海道
GENETICS HOKKAIDO assoc.
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F
<https://www.genetics-hokkaido.ne.jp>



@gh_assoc
@genetics.hokkaido
@gh_assoc
ジェネティクス北海道

事業推進部

〈情報企画課〉

TEL(011)242-9645

FAX(011)242-9651

〈乳牛改良課〉

TEL(011)242-9646

〈肉牛改良課〉

TEL(011)242-9647

●道北事業所…………… TEL(0166)57-6111 FAX(0166)57-6113

●道東事業所…………… TEL(0153)72-4554 FAX(0153)72-1325

●道央広域事業所 道央 TEL(011)375-4422 FAX(011)375-4411

広域 TEL(011)375-4395(都府県 担当連絡先)

●十勝北見事業所…………… TEL(0156)63-3838 FAX(0156)63-3839

●十勝清水種雄牛センター… TEL(0156)62-2158 FAX(0156)62-2150

●道央種雄牛センター… TEL(011)375-3939 FAX(011)375-2330